



マラソンでは、1年生から6年生までの全児童が一斉スタート。父母の声援と拍手に励まされ元気よく先走しました。(協元小運動会)

しょうがつこうにはいつてはじめてのうんどうかい。おあさるといっしょに、てをつないでいっしょうけんめいはりました。おあさるんのおも、にこにこわってました。



しらかわ
あゆみちゃん

一等とったよ

うんどうするのがだいすきです。「おっばいのんで」のおやくきようぎでは、ミルタをのませて、おんぶしてもらいました。おあさるんは、おもい、おもいといながら、はじりました。



はやしざき
まことちゃん

ふとっっているから、はしいないんだ。でも、みんなといっしょにはしると、たのしくなります。まそんなでも、おくれたので、どうゆうであそんでいるのではなにかとおあさるんは、しんばいしたそうです。いっとうはとれなかつたけど、おひるのごちそうは、いちばんたべました。



くわの
なおこちゃん

今月の主な記事

津波之塔完成	2~3
田植えは今月中に 冷害に備える農家	4
*モー君にもようやく春	5
期待されるサケ漁業	6
この人この道	7
あなたのところは安全ですか	8
ヨット・カヌーのシーズン到来	9
歴史漫歩	10
おしらせ	11
健康への道、戸籍の窓	12

年一回行われる運動会は、児童だけでなく、父母にとっても楽しみな一つです。



「津波之塔」完成

遺族ら170人が出席し除幕



完成した「津波之塔」は、犠牲になった6人の慰霊碑としても。

日本海中部地震で、六人の犠牲者を出した本村は、天災の恐ろしさを末長く後世に伝えようと、「津波之塔」の建設工事を進めていましたが、このほど完成し、一周忌に当たる五月二十六日午前十一時から、遺族、関係者ら約百七十人が出席して除幕式を行いました。

この日は、一年前と同じように青空が広がり、日本海も波穏やかな五月晴れ。

除幕式では、三重寅村長、竹内整一代議士らが石碑前の祭壇に玉ぐしを奉奠、六遺族の代表が次々と献花。参列者たちは新たな悲しみに包まれていました。



津波は濁流となって押し寄せ、人も車ものみこんでしまいました(昨年五月二十六日、日本海中部地震津波)

日本海中部地震、津波の惨事は、想像をはるかに越えるものでした。悪夢の日には二度と繰り返えしたくない。

あ
の
時
は
私
の
時

あの時、もう十分前に地震が来ていたら大変なことに...。地震が起きたら火を消す。地震の後は津波が来ることを教訓にした。



佐藤 トクコ[♀] (相内)

日本海中部地震では、六人の死者が出るなど、大きな被害を受けました。地震後の二次災害を防止するためには、あの日を教訓に、日ごろの心構えを大切にしたいと思う。



竹谷 裕治[♂] (協元)

あの際の地震では、津波の恐ろしさを思い知らされた。特に津波の経験がなかっただけに、大津事になったものと思う。地震の後は津波が来ることを、みんなで戒めたい。



中山 たい[♀] (相内)



水道も断水し、復旧作業が昼夜行われました。



地震後の津波警報に十三地区住民は隣村の高台へ避難しました。

繰り返えすな 「悪夢の日」を

悲しい教訓

語り継ごう

除幕式のと、市浦村コミュニティセンターで、津波之塔建立竣工式が行われ、三重

「地震は突然大地を揺らし、地を裂き、人家を倒して、至るところにその爪跡を残した。異様な海鳴りとともに津波が押し寄せ、十三湖河口の釣り八名をのみ込んでしまった……」



遺影を胸に参列した遺族も……



正午にはサイレンに合わせて全員が黙とうしました。

あれから一年

忘れまい地震の怖れ

5・26 日本海中部地震

マグニチュード7.7のすさまじいエネルギーが、大地の揺れと津波を引き起こし、本県をはじめ、各地に深い傷跡

を残した昨年五月二十六日の日本海中部地震。地震のあと突然襲った大津波は、十三湖河口で釣りをし

ていた六人の尊い命を一瞬のうちにはのみ込み、惨事の湖となりました。「津波之塔」は、これら犠牲者

を慰霊するとともに、恐ろしい天災をいつまでも忘れず、防災に対する心構えを持ち続けるために、と計画されたものです。

「津波之塔」は、建設費四百八十万円をかけて、十三湖河口北側突端に建立され、コンクリートの基礎部分に市浦産のメノウ系自然石をあしらった台座を載せ、その上に本体を重ねました。

本体は、黒御（み）影石を使い、幅二・六、高さ約四・五という立派なものです。

表面には、北村正哉知事揮ごうの「津波之塔」が彫り込まれ、裏面には、三重、實村長の書家（前福元小学校教頭）水沢寛氏の書による碑文が刻み込まれています。

ろしさんが、遺族のために作曲したエレジー「十三の湖」が披露されました。

■感謝状受賞者 成田建設成田信子、小田川石店小田川一、書家水沢寛、みちの銀行葛西清美、津経信用金庫野元吉、福田道路神弘前営業所丸田嘉夫、八光測量御奈良光二



竣工式では、一年前の事実を後世に伝えよう一、と誓い合いました。

やすらかにあなた……



津波さえなかったら……。遺族がそれぞれ献花をし、めい福を祈りました。

除幕式は、悪夢の日。から一年たった五月二十六日午前十一時から、遺族ら関係者約百七十八人が出席して行われ、十三小六年、小山内大くんと工藤弘子さんの手によって除幕。遺族らが次々献花し、めい福を祈りました。

また、地震発生時の正午には参列者全員で黙とうをささげ、地元消防団が一斉にサイレンを鳴らしながら、村内をパレード。村民に、天災を忘れまいと防災意識の高揚と惨事の再発防止を訴えました。

5年連続の不作回避を 田植えは今月中に

豪雪に見舞われた本村も、ようやくトラクターの音が響きわたり、本格的な農作業のシーズンを迎えました。

しかし、今月に入ってから天候も、いま一つパツとしない。大幅に遅れた桜の開花期にみられるように、四月

から続いている低温とヤマセは、異常天候と思われません。

雪消えと同時に、村では金木農家改良普及所と共催で稲作の基本である健苗育成の講習会や、各地区では青空教室を開いて農家指導を続けてき

ましたが、農家の間ではいま田植えを控えて、苗不足の心配がささやかれています。

苗不足の 解消を

ハウスの育苗管理と、ここ



毎日のヤマセに困まりはてた農家に苗不足の心配が出ています。田植えは五月中に終えようー呼びかけはしているのだが。

数日の好天で回復のきざしはあるものの、苗不足の農家がでてきたため、農家同志が話し合いで解決している状況にあります。

十八日から桂川地区で田植えをはじめましたが、田植えは今月の末日に集中することから、異常低温対策委員会のメンバー十二人が、十九日苗の育苗管理の状況と苗不足を防ぐため、村内を視察しました。

苗不足の農家を出さないために、同委員会では、「田植えが終わって、苗が余った場合は、農業協同組合に連絡し、苗を村外に出さないように」と協力をお願いしています。

今年こそ

冷害克服

これから、天候がどのように変化し、推移しようとも、最終的には、冷害克服に対する農家個々の稲作栽培への心構えと意欲、そして努力が必要とされています。

四年間の冷害の経験を生かし、今年こそ、稲作の原点に立ち返り、基本を忠実に守って、冷害を克服したいものです。

冷害にそなえる 農家



田植えは、18日から始まったが、連日のヤマセに農家は悩まされています。

四年連続の冷害害に見舞われた農家の人たちは、これまでの教訓を生かし、今年こそ冷害を克服しようと頑張っています。



伊藤 博さん (相内)

「寒い春」を迎え、きょうもヤマセが続いている……。冷害にそなえた農家の人たちの表情は固い……。

昨年まで水田を休耕して、妻と二人で出稼ぎをしていましたが、今年では作ることにしました。長い間休耕していたので、昨年は作ることにしたのが壊れてしまっただ家です。苗はまだ短かく、田植えは六月上旬に短く、田植えは七十アールの水田耕作より



田中カネさん (磯松)

苗の成育が悪く、苗不足が心配です。田植えを終えた農家に聞き当ててはいるものの、この農家も困っているようです。

昨年は、田植えが二十日ごろ終わっていたのに……。日は照っていたのだが、連日のヤマセに泣かされています。天候が回復してくれば何とかとなるが、今月中の田植えはとて無理だ。

文碑と津波

その日、一九八三年五月二十六日正午。

五月唄れの船は船影に舞き、宙返り舞をひそめて静もり返つていく。

この刻、突如天地動転し、地を裂き人家を倒し、地下水を噴き上げて日本海中中部地震が襲来した。そしてその恐怖の震源はまだざりしうちに浪牙は咆哮し、波頭は一瞬にして脚を呑んだ。

津波だ、逃げまどく者、怒濤に捲き込まれる者、惨害のなかの惨死の寂寥も及ばず、遂に

六名の人影は海底に消え去つた。

この塔は、その霊に対する鎮魂の碑であると共に、異国元年以来の歴史の惨事を後世にとつとめ、爾後、不断の備えに心することを希つて建立したものである。

一九八四年五月二十六日

第四代 市浦市長 三三 重 眞撰文

永 沢 寛書



死者六人、家屋、田畑、道路などの被害総額十億円。昨年五月二十六日発生した

「日本海中中部地震」は、本村にも大きな被害を与えました。当時の傷跡は復興されつつありますが、遺族の後遺症はまだ深く残っています。

こうしてはられない、何とかしなければ……。残された人たちは、一生懸命頑張っています。悪夢の日。からもう一年。



子嶋徳和 子嶋徳和 (13歳)

ここに慰霊碑が建つことは知っていたので、母といっしょに来ることにしていました。父亡き後、母に心配かけないようにしています。思い出す。父の笑顔が……。

夫は出稼ぎをしていたのですが、体を悪くして家に帰っていたんです。子供たちは名古屋方面に出ておりますが、みんな助け合つて生きて行かなければ。



佐々木マチエ (53歳・相内)



小野つとむ (41歳・磯松)

釣りの好きな夫でした。まさか、海で命を落とすなんて信じられませんでした。あの日も朝早く「釣りに行ってくるぞ!!」と出かけた声、今も耳に残ります。

地震の恐ろしさは知っていたが、息子が津波にさらわれるなんて、信じられないことです。生前の息子の顔が思い出されて……。もう一年たつたんですネ。



秋田谷夕ヨ (67歳・十三)

哀歌作曲

遺族にテーマ贈る

木造明に住む日本作曲家協会会員、伊藤ひろしさんは「少しでも六人の霊をなぐさめ、遺族の痛みになれば……」と

「十三の湖」に曲をつけて、「遺族へ贈りました。メロディは、十三湖での惨事を悲しむかのようにつくられています。」

「十三の湖」

伊藤ひろし作曲

かもめとび交う、青い空 白いさざ波、静かによせる

信じられない、湖畔の風に あなたはいづこ 死なないで

ひざつき祈る、橋の上 あ、十三の湖に たそがれ

迫る (以下略)



子牛は鼻紋をとって初登録

牛の放牧は、五月十五日から三日間、実取、岩井、臨元の牧場で行われました。豪雪に見舞われた今年は、五月に入っても雪が消えず、合わせて低温重なったため、牧草の伸びも悪く、例年より

四日遅れの放牧となりました。数日前から吹きつけていた冷たいヤマセの中で、この日はかなり、朝からカラリと晴れ上がり、冬期間各農家で飼育された六百九十四頭の牛が、トラックなどで次々と運び込

まれました。県家畜保健衛生所などから派遣された係員らが、病気がないかどうか、念入りに検査をし、生後一、二カ月の子牛も、体重測定や鼻紋を取って初登録されました。約六カ月ぶりに、青草茂る広い野に放された。モ一君、たちは、群れを作りながら牧場に飛び出し、この冬生まれの子牛は、初めてみる広い野に大はしゃぎ。親牛の周囲を元気に跳ね回っています。放牧された牛は、十月の終牧まで約六カ月間、広々とした牧場での生活を送ります。



(上) 念入りに行われる放牧前の検査
(下) 経営不振に悩みながらも、牛にかける期待は大きい(実取牧場)

「モ一君」にも ようやく春



牛たちは10月まで広い牧場でのおんびり過ごします。

低迷続ける

畜産農家

牧草地が整備され、牛の頭数も年々増え続けていますが、肉の輸入拡大や価格の低迷などの先行き不安材料が多く、畜産農家は、大きな曲がりかどにきています。

多頭飼育で、頭数は増えているものの、畜産農家は依然として伸びず、特に最近の価格の低迷は、飼料代金の返済に追われるなど、経営不振に陥っています。

去る四月二十五日、木造町で開催された西北畜産振興協会主催の市場には、黒毛和種の子牛を主体に、西北地区などから約三百五十頭の牛が上場されました。

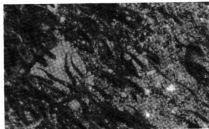
しかし、日米農産物交渉で、牛肉の輸入枠拡大などの影響から、去勢雄で、キロ当たり平均四百八十円、雌で、平均四百五十円、と価格は振るわず、不振といわれた昨年よりも、

更に安い値段に生産者たちがガツカリさせました。本村の肉用牛生産振興計画によると、昭和六十年には、一千七百五十頭を目標に草地造成を進めていますが、畜産農家の課題となっている小頭数飼育と多頭化飼育の在り方や、肥育も含めた一貫経営指導も検討しています。

また、畜産農家の二代目、三代目となるべき後継者の育成を含めて、村、農業協同組合、農家が話し合いを深めて、基幹産業としての畜産振興をはかることにしています。

大きくなって 帰ってこいよ

—十三湖にサケ放流—



サケの稚魚は元気に旅立ちました。

沿岸漁業の見直しとして、
国・県が打ち出したサケ資源
増大計画に呼応し、村では昭



必ず帰ってこいよ…サケに期待を寄せる漁業関係者。

和五十三年度には、磯松山(通称・板割山)に、サケ・マスふ化場を建設、ふ化放流事業を続けています。

今年、サケ・マス放流は五月二日、十三前湯で行われ、百二十五万五千五百尾の稚魚が、十三漁業協同組合関係者の手で放されました。

この日、ふ化場からトラックで運び込まれた稚魚は、一月から二月にかけて卵からかえり、体長約五センチ、体重一〇三ミリに成長したもので、稚魚とはいえず、未来の大魚の風格十分。

水中に放された稚魚は、流れにさらって上り、ウロコを光らせるなど、どの魚も元気いっぱい泳ぎまわっていました。

放された稚魚は、三十日から五十日ほど十三湖を回遊したあと外洋に出ると言われていますが、三、四年後に成魚となるのは約一千尾と予想されています。漁業不振が続いている漁家は、この事業に大きな期待を寄せています。



ふ化場からは、トラックで運ばれ、十三湖・前湯に放されました。

不振続きに 期待されるサケ漁業

五十四年から村でふ化・放流したサケの稚魚は、合計で千五百十尾となります。年平均では約二十五万七千尾で、〇・一割の子想回帰率では毎年約二千尾のサケが帰ってくる計算になります。

しかし、これまでの漁獲数量は予想回帰率をはるかに下回り、サケ漁業の不振が続いています。

漁業不振の主な理由としては、サケの捕獲方法や沿岸刺網漁業の規制、さらには岩木川上流市町村から吐き出される農業残留水、家庭の雑排水、廃棄物の不法投棄による十三湖の汚染化が原因としてあげられ、漁業関係者に深刻な影を投げかけています。

これらの問題については、昨年十月開催した第二回村政懇談会で、活発な意見交換がなされており、村では、ふ化・放流事業と併行して、サケの捕獲方法や沿岸刺網漁業の規制緩和についても関係機関に働きかけています。

このことは、サケのふ化、放流事業の成果が出てきたからだと思っっている。

サケ漁業の振興
十三湖周辺海域にも、近年、大量のサケが来ているようだ。



小寺秀弘さん (十三)

漁民個人が、サケを捕ることには、いろいろな許可、規制に問題が多い。これらは、漁業協同組合の事業としてやれば、少しは緩和されると思う。

サケのふ化、放流事業は、漁業所得の増大を目的に実施したもので、せっかく回帰したサケを手をこまねいてみただけでは何にもならない。みんなで知恵を出し合い、ふ化放流と併行して捕る漁法も考えたいものだ。

また、十三湖から放流したサケが、十三湖にその影をみせないのは残念でならない。岩木川上流から流れてくゴミや汚水が原因だ、という人もいたが……。

生まれ変わる町内会

本町の行政システムの見直しと町内会の福利増進を目的



これからの町内会をどうのよのうに……地域づくりの話しあいを深めました。

に、昭和四十六年九月、町内に十一の町内会を設置しました。

しかし、町内会の主な仕事は、通知書や回覧板などを配布している行政連絡委員のとおりまとめや連絡事項の伝達に限られていました。

豊かで住みよい活力のある地域づくりは、そこに住む人たちが、その責任と役割りを分担して、自主的に参加し、互いに助け合い、協力しあうことが大切です。

そのためには、住民の自主性や主体性が尊重されなければならぬし、地域住民と行政との協力関係も重要なことです。地域のニーズと住民の

意向を行政に反映させるため、これまでの町内会のシステムを廃止して、六月一日から町内会を新しく設立することにしました。

町長が直接任命していたこれまでの町内会の役員は、新しい町内会では、すべての役員が住民によって選ばれることになりました。

村では、町内会運営補助金交付要綱を定めて、新しいまちづくりをめざした町内会の設立準備を進めています。住民の積極的な参加と協力を呼びかけています。

郷土史研究に生涯かける



市浦村誌第1巻の発刊に語る市浦村史編纂委員会委員長豊島勝蔵さん(十三出身・五所川原市在住)

東^つ流^り外^が三^の部^は、寛政年間、秋田孝季・和田長二郎の二人が安東氏の足跡をたずね、全国を行脚し書いたもの。〔此の書巻は藩許得難く他見に及しては死罪を招く事あり、

依て他見に及すべからず、門外不出を旨とせよ〕とされた。門外不出の書巻約百二十巻を手がけ、市浦村史資料編とつながり、現在にふよがるせたのが豊島勝蔵さんである。資料の借用、書写、整理編集、裏付け踏査など、約七年もの長い年月を費した。

内容的には、古代、中世史の価値感をくつがえすものがあるだけに、この発刊は多くのセンセーショナルな話題をふりまいてゐる。長平小・中学校長、森田小学校校長を歴任し、四十八年三月、教職を退いて十一年目、

主な編著書に市浦村史資料編上・中・下巻、年表、森田村誌、十三郷土史、津軽新田記録などがあつた。特に、天明卯辰日記改題「津軽の飢饉史」は、郷土史研究家等から大きな反響を呼んでいる。

広^く、史^をに^連結^した原稿が続き、昨年からは手がけた市浦村誌第一巻が校正段階にあり、これが終わると森田村誌の編集が待っている。「朝早くから夜遅くまで机に向かう日が続いていますよ。」とべんを休めてニコッとする豊島さんには、ゆつくりくつろぎ時間はないようだ。

桜はつぼみでも心は満開



郷里からかけつけた47人と交流の輪が大きく広がりました。

郡会が暮らしている者同志が、親睦を深め、共に確かめ合い、励まし合っている。こうし、東京周辺に在任の相内出身者で組織している「東京・相内会」(鳴海善也会長)では、毎年上野公園に集合して交流を深めています。

五月八日に開いた今年のつどいは、郷里からバスでかけつけた四十七人と、にぎやかに交流の輪をひげました。

上野公園の名物・西郷隆盛像の前に集合した相内会のメンバーに、郷里相内からバスでかけつけた。応援団も参加しての太刀振り(虫おくり)は、あちこちで聞かれています。酒宴を完全に圧倒し、大勢の見物客にとり囲まれるほどの大盛況。地元と東京相内会との初交流は昨年、全国定通制高校軟式野球大会で、金木高相内分校がベスト8入りする快進撃。これを東京相内会がこそぞつて応援にかけつけたことがきっかけで実現されました。今年のつどいは、あいにく花のない上野公園での開催となりましたが、旧知と久しぶりに語りあひ、親子や兄弟に對面し、バスでかけつけ、娘や孫と記念写真を撮るなど、集まった人たちの心は満開でした。

梅雨は
間近

あなたのところは

安全ですか

六月は「土砂災害防止月間」

土砂災害を生む大雨

こゝろが、雨がしばらく続いた
ある日、突然に――

地面が崩れるとはふんだん
れも思っていない。しかし、
台風や梅雨などで雨が一時に
多量に降ると、いつもは水の
少ない沢から土砂が流れ出し
たり、ふだんは丈夫そうに見
えるがけが崩れ始めます。雨
で地盤がゆるむためです。



長崎県 木村 斎
市浦 齋

「天災は忘れぬころにやつて
くる」といわれますが、まさ
にそのとおりだと思います。
昨年五月二十六日発生した
日本海中部地震は、だれも予

災害防止に備えよう

測してはいる後、十三湖では六
人の尊い命が奪われ、絶望と
不安のなかで大きな混乱をま
ねきました。

豪雪に見舞われた今年の冬、
寒い春を迎え、五年続き
の冷災害がささやかれている
農家の表情は曇りが、農家
の努力で何とか回避してはし

いものです。六月は「土砂災
害防止月間」。土砂災害危険
箇所こそ少ない本村ですが、
災害はふだんだれも思ってい
ない時に発生しています。

これから夏にかけて多発す
る交通事故や水死事故、火災
防止も含めて身のまわりの安
全を確かめ、いかなる災害に
も備えたいたものです。

**土砂災害3つの
パターン**

土砂災害は、地面の崩れ方で
「地すべり」「がけ崩れ」「土石流」
の3つに分けられます。

地すべり

山などの
斜面の一部
がすべり落



「これらが「地すべり」
です。「がけ崩れ」に似てい
ますが、地すべりは、元の形

をある程度保ちながらゆつ々
りとして、しかも継続的に崩れる
ものであるとされています。
地すべりを引き起こすもの
としては、雨水のほか、雪ど
け水、地震などが挙げられま
す。また、斜面の端から土砂
を取り除いたり、斜面の上部
に盛り土をするなど、手を加
えることも地すべりの引き金
となります。

がけ崩れ

「がけ崩れ」は、勾配が三
十度以上の斜面に多く発生し
ています。割れ目が多かった
り、水が流れていたたり、上部
がせり出しているようながけ
は、崩れやすいがけといえま
す。



がけ崩れは、地すべりと同
じで、雨ばかりでなく地震で
も起きます。しかし、ふだん
から次のようなことに注意し
ていれば、予防できます。が

土石流 (りゅう)

雨を含みきれなくなった多
量の土砂が急な谷を流れ出す
のが「土石流」です。「山津
波」とも呼ばれます。突発的
に起こるため大きな被害をも
たらします。

一時間に二十ミリ以上の強
い雨が降ったり、降り始めて
から降雨量が百ミリを超える
ようなときに発生しやすくな



- 雨などをはげに流さな
いようにする
- がけの周囲の水路を掃除
し、水をためない
- 風に揺れて、その根が地
盤をゆるめると言う大木
は切り取る
- 崩れそうな土のかたまり
はあらかじめ取り除く
- 崩れそうな箇所は柵など
で補強する
- ビニールなどで覆い、水
ががけにし込まないよ
うにする

るといわれています。急に雨
が強く降ったり、長く続くこ
きは十分注意してください。

海と山と湖に囲まれ、自然環境に恵まれた十三小学校（沢田茂隆校長、児童数百一人）では、ゆとりの教育にヨットやカヌーなどを利用した海洋性スポーツをとり入れ、体力増進と、精神力を養うなど、教育効果を高めています。

海洋性スポーツは、五十五年、ブルーシー・アンド・グリーンランド財団（略称B&G財団・笹川良一会長）の協力です。スタートしたもので、自然を活用した、ゆとりの教育に最適。

学校・PTA・同校子供会

ヨット・カヌーのシーズン到来

海洋性スポーツで "ゆとりの教育" 十三小で出艇式



次はボクの番だ！ 順番を待つ子供たち



6か月ぶりにパドルを手にして力強くさばっていました。

などの全面的なバックアップを受けての海洋性スポーツは、海への挑戦をテーマに今年もスタートしました。出艇式はこのほど十三湖前浜で行われましたが、四年生以上の児童が、ヨットやカヌーを持ち運び、沢田校長が、海への挑戦をテーマに説明し、心身をきたえて、自己の到達目標を定めて努力してほしい」とあいさつしました。また、児童会々長の小山村大くんが「先生方の教えを守り、海洋性スポーツをとおし



ライフジャケットを身につけ、カッターに乗り込む。サアノ出発だ

て、心と体を鍛えます」と宣誓したあと、さっそくカヌーとカッターに乗り込み、六か月ぶりに手にするパドルを力強くさばっていました。

海洋性スポーツは、ゆとりの教育の一環として、十月末日まで毎週三時間にわたって続けられますが、七月三十一日から八月一日には、十三湖前浜を中心にB&G全国スポーツ東北地区ブロック大会が開催される予定で、児童会が優勝をめざす」とりきっています。



工藤 弘子 さん (十三小・6年)



小山内 大くん (十三小・6年)

はくは海が大好きです。まずは、七月に開かれる東北大会が勝負、東北大会ではヨット・カヌー・カッターなどのほかに、B&G市浦海洋センターのアピールでは、水泳も行われる予定です。先輩たちは、去年、上位独占というすごい成績を残しました。今年も、がんばりが活躍する番だ。全国大会をめざし、がんばります。

優勝めざして サア、がんばるぞ!!

学校生活で一番楽しいこと、それはヨットやカヌーに乗れる。ゆとりの教育。ヨットも三年たった今では、この季節が早くこないかと、まだどおしいほどになりました。今年の目標は上位入賞、できれば優勝、とにかく週三時間の練習時間をむだにすることなく、がんばりたいと思います。



ふたば
おぼろ
あまのこ
(1)



おせどうは古代安日彦、長髓彦の遺骸を再葬した墓地といわれる。

法燈むなし
靈地山王坊に別れを告げ、歩みを山王川沿いに運ぶと、桂川と交わるあたりに露草遺跡(俗称四軒屋)があります。

奥の山塚

この附近に大昔に長谷寺という真言密教のお寺があったといわれ、津軽の古い文書にもその名が列せられています。
また、相内川のほとりにも神林寺(島津製材所附近)という真言宗のお寺も建立されていました。
「法燈への道」は、胎藏界の古名刹のこの二寺に続くのですが、山王坊と同じく安倍安東氏と運命をともにし、今は法燈むなく消え失せて、村人に稲のみをりを与え、遺物の石仏は蓮花庵に名残りをとどめるのみです。

昔の荒吐社

水清き相内川に囲まれた約七メートルの高台に鎮座している社を神明宮とい

ます。
昔は、福島城の北西部の一角を占め、安倍氏の城神であるアラハバキ神を祀っていた館岡があったといわれています。また、安倍氏の遠い先祖である安日彦、長髓彦の死骸を再葬した霊地でもあるといっています。
ある、とても靈感の働く僧侶や信仰の厚い人が、このアラハバキ社に詣でると、山王坊と同じく、髪の毛がスツクと立ち上がるように感じられるということをよく話されます。相内の人たちもここを聖地として崇め、めつたにこの地域を汚がすことなく、口伝えに語りついでて尊んできたものだそうです。

ここはちょうど神林寺の南の高台になっています。私たちがしばらくこの霊地に於禱堂に歴史探訪の足を休めることにしました。

夢枕にたつた荒吐神

相内には三和姓を名乗る方がたくさんいますけれど、昔は「三輪」と書いたものが多いです。「三輪明神」

とか、「三輪山」とかいつて、神社に關係する言葉が多く昔の本に出て来ます。祖内の「三輪」家も遠い先祖は山王日吉神社の宮司であつたといわれて、おそらく大津市坂元の日吉神社から派遣されたものではないかと推量されます。

明治の末頃に「三輪藤兵衛」という方と「中居勇」という方の夢枕にオセドウの神が立たれてここを掘り起こしてくれとのことでした。二人は無二の親友であつたから、靈夢の不思議を語り、二人に同じ靈夢があつたのだから、オセドウに出掛け掘り起こしたところが偶然にも墓の穴だったので、そこからは、木炭と人の細かい骨が出てきたので、びっくり仰天した二人は青くなつて逃げ帰つたということ。これが、オセドウに手をつけた最初のわけ。この噂が伝わって、たくさんの方々がオセドウを訪れるようになったので

津軽のことわざ


ねの部

ねずみ捕る猫は啼かす
くれた才能のある者は、平素むやみに力量を出して人に示さなことを。
寝屋ア手前損 悪事を秘かに
おおいにかくそうとして、ひとり悩む苦しむこと。
熱だが冷だからね 熱い
か冷たいかわらぬ 煮えき
ぬ態度の人をいう。
寝で食えば牛になる 不行儀をいふこと。
寝で寝んだ倒れない 消極的だが失敗はないこと。
寝で寝て人起すナ 自分は働かなくして他人を働かせるナという意。
根のない大根 無意味なこと。
本質を失うこと。
座り相撲 すわつてばかり
いふこと。
寝耳に水 寝ているときに水が入つたように、不意な出来ごとで驚かされてたこと。
根も葉もない 全然根拠がない。無根のうわさなどという。
寝るほどの業はない 一番楽な姿勢は寝ること。

情報をお寄せください

お知らせ

役場の電話は62-2111



トヨタの日記



柳引 博 (監元)
長男・博 士くん(4歳)

「おおきくなったらサツカ、やりたいの! でもみんな、さすもうのほうがいいって。」

手続きは済みましたか

今ではほとんどの出稼ぎ先で厚生年金に加入していますが、出稼ぎを辞めて帰ってきますと、同時に厚生年金も辞めていきますので、今度は国民年金に加入しなければなりません。

厚生年金については出稼ぎ先の会社で全部の手続きをしてくれませんが、国民年金に関しては一切の手続きを自分の手で直接行わなければなりません。

国民年金や厚生年金などの公的年金の加入期間は全部通算されますので、出稼ぎから帰ってきたときは年金手帳を持参の上、早急に役場の国民年金係で、国民年金に加入する手続きをして下さい。

図書館の献本運動実施中

おねがいします

「図書館をみんなで充実させよう」を合言葉に、図書館では、現在、図書館の献本をお願いしております。

本棚にねわっている本、あるいはぜひとも皆さんに読んで欲しいと思われる本がありましたら下記のとこらまで、ご連絡ください。

連絡先
コミュニティーセンター図書館
電話62-3751番

募集しています 読書グループ

読書グループとは、読書を共に楽しむ仲間のことです。

図書室では、図書グループの申し込みを受けた後、読書グループのリーダーに数冊の本をまとめて貸出し、グループ員に回し読みや輪読会をしてもらいます。いちいち遠い道のりを、図書室まで本を返しにくる必要がなくなり、十三・太田・磯松・脇元の方には、ぜひおすすめします。

グループ内では、読んだ本の感想や意見を互いに交換し合い、ウンとおしゃべりをしていただきます。こうしてグループ員同士で刺激し合い、読書生活を持續させ、各人の生活を高めてもらうのがねらひです。

申し込みは、教育委員会(電話62-3751)まで。

本の紹介

— 今月の本 — 『ねんねこたんてい じけんだよ』

矢崎節夫・さく 岡村好文・え PHP研究所発行

ねんねこたんていが、ドアをあけると、かばだけいぶがとびこんできた。「じ、じけんです」……(小学1〜2年むき)

あなたも 献血はできます

16歳以上65歳未満で健康な人 体重45kg、女40kg以上の人

■献血は次により行われます

場	所	時 間
十三	公民館前	9:00~10:00
市 浦	農協前	10:15~11:00
磯松	公民館前	11:15~11:40
脇元	生きがいセンター前	13:00~13:35
村 山	食堂前	13:50~15:20
太田	古川商店前	15:30~16:00

知っていますか

6月1日は「人権擁護委員の日」です。

人権は、人間が平和に生存する上で、最も大切な権利です。自分だけでなく、あなたも私もみんな人権が尊重されなければなりません。

つまり人権は共存するものなのです。

市浦村には、村長から推薦されて法務大臣が委嘱した次の人権擁護委員がおります。

十三・安田 源 蔵
電話62-3426番
脇元・成田 水 吉
電話62-3525番
相内・秦 義 雄
電話62-2054番
相談は無料で、秘密は守られます。気軽に相談してください。



わたしが、はじめてがっこうにはいったとき、おもしろかったです。
わたしたちのせんせいは、しもやまりようこそんせいで、いつもならばやさしいんですが、たまにはしつこたりします。
よくしかられているのはおとこのこです。
なわとびもおとこのこがまけます。
わたしは、がっこうでいちばんせがらいいさいけれどがんばっています。

わたしたちの せんせい



あいうちしょうがっこう
やまぎき けいこちゃん

広 報



▶ 2 ◀

検査を受けて

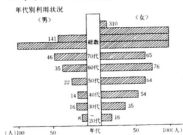
健康の確認を

その中の一つ循環器検査が六月に予定されています。今月は昨年度の循環器検査の結果をお知らせします。

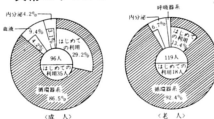
検査を受けた人は四百五十一人、その中で何らかの異常があった人は二百五十一人いました。なかでも注目してほしいのは、成人層のはじめての利用者に異常の認められる割合が高いことです。これは、健康を自覚し働いている人に、いかに病気がひそんでいるらしいという指標と

も受けとれます。現在では血圧測定をはじめ検査法が発達し、病気を軽いうちから見つけることが可能になりました。検査を受け自分の健康を確認し、安心して生活をおくりたいものです。

58年度 循環器検診結果



異常のうちわけ



ふれあいと

思いやりを大切に

村派遣社会教育主事 工藤 明



五十三年に上北管内から相内小学校へ赴任し、今年四月、社会教育主事として派遣されました。

本村に来て、七年目になります。児童を対象にしてきただけに、全村民を対象にした社会教育はまだ、まだ、まだ、幅広い、奥行きのある世界に足を踏み入れ早や二か月。

委員会と関係機関団体などのシステムを理解するのに四苦八苦の状況です。近年、社会、学校、家庭などにかかわる問題がマスコミを賑わしていますが、それぞれの個人プレーではなく、一帯となった連携プレーが大切であると思います。

「手のひらを太陽に」の中に、「みみずだつて、おけらだつてあめんぼだつて...」と、代表されるように社会は独りで生活しているのではな

こゝろにちは赤ちゃん

藤田隆男さん(磯松)
長男 恒也ちゃん(9ヵ月)
お父さんとお母さんはお仕事なんだ。だからボクはおばあちゃんとお家でお留守番です。恒也、おりこうさんにしてるからね!!



- 木村 和民(東京)
- 吉田 富江(相内)
- 中山 隆二(磯松)
- 藤原 容子(山形)



ご結婚

- 矢本 貴士(十三) 裕次
- 相川 里美(十三) 武
- 相川 裕季(十三) 昭一
- 梶浦 瑞穂(十三) 昭一
- 山田 隼人(十三) 一彦
- 奈良 美沙(太田) 豊美
- 小寺 秀明(相内) 義輝
- 萬谷 健志(脇元) 要

おくやみ

- 赤石 輝幸(小泊)
- 澤田ひとみ(磯松)
- 金子 孔紀(札幌)
- 龜田智子(十三)
- 小寺 武寿(中里)
- 新岡美紀子(磯松)
- 米谷 良二(相内)
- 山本久美子(板柳)
- 山本 三郎(十三)
- 平良 京子(沖繩)
- 成田 孝(磯松)
- 成田 恵子(本造)
- 齋藤 實(磯松)
- 野上真知子(中里)
- 三上 都夫(脇元)
- 木村千佳子(弘前)
- 矢本久三郎(十三) 80歳
- 葛西 はつ(脇元) 88歳
- 三和 ヤシ(相内) 69歳
- 三和 亮一(相内) 70歳

戸籍の窓

